

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／その他資産（ハイブリッド証券）	
信託期間	約4年間（2015年7月31日～2019年7月22日）	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当ファンド	イ、ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラスト・グローバル・コーポレート・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド」（以下「コーポレート・ハイブリッド・ファンド」といいます。）の受益証券（円建） ロ、ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	円建ての債券
当ファンドの運用方法	①主として、コーポレート・ハイブリッド・ファンドの受益証券への投資を通じて、世界の企業（金融機関を含みます。）が発行するハイブリッド証券等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。 ②当ファンドは、コーポレート・ハイブリッド・ファンドとダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態では、コーポレート・ハイブリッド・ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③コーポレート・ハイブリッド・ファンドでは、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。	
マザーファンドの運用方法	円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。	
組入制限	当ファンドの投資信託証券組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、経費控除後の配当等収益等を中心に分配することをめざします。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

コーポレート・ハイブリッド証券 ファンド2015-07 (為替ヘッジあり／限定追加型) (愛称：メジャー・カンパニーズ15-07)

運用報告書(全体版) 第1期 (決算日 2016年1月22日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2015-07（為替ヘッジあり／限定追加型）（愛称：メジャー・カンパニーズ15-07）」は、このたび、第1期の決算を行ないました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<http://www.daiwa-am.co.jp/>

設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率	純 資 産 額
	(分 配 落)	税 込 配 金	期 騰 落 中 率			
1 期 末 (2016年 1 月 22 日)	円 9,163	円 100	% △ 7.4	% 0.0	% 99.1	百万円 8,497

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

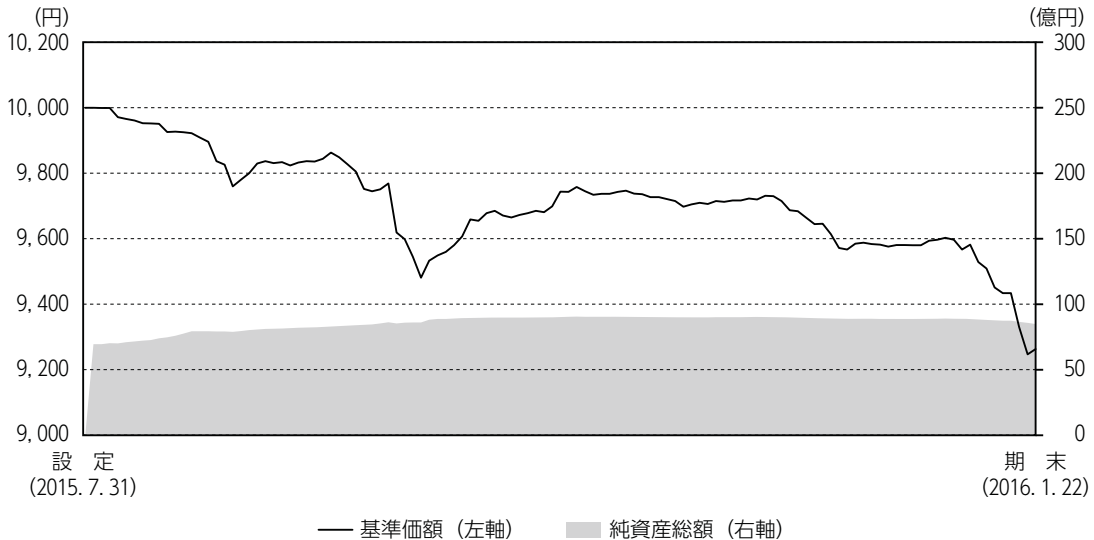
(注 2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注 3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注 4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

《運用経過》

基準価額等の推移について



(注) 期末の基準価額は分配金込みです。

■基準価額・騰落率

設定時：10,000円

期末：9,163円（分配金100円）

騰落率：△7.4%（分配金込み）

■基準価額の主な変動要因

ダイワ・プレミアム・トラストグローバル・コーポレート・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド（以下「コーポレート・ハイブリッド・ファンド」といいます。）の受益証券への投資を通じて、金融機関を含む世界の企業が発行するハイブリッド証券等に投資した結果、ハイブリッド証券からの利息収入はプラスに寄与しましたが、主に債券価格の下落により基準価額は下落しました。

コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2015-07 (為替ヘッジあり/限定追加型)

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率	投 資 信 託
	騰 落 率	率		
(設定) 2015年 7月31日	10,000	—	—	—
7月末	10,000	0.0	0.0	—
8月末	9,837	△ 1.6	0.0	99.0
9月末	9,481	△ 5.2	0.0	98.9
10月末	9,734	△ 2.7	0.0	99.7
11月末	9,723	△ 2.8	0.0	99.9
12月末	9,580	△ 4.2	0.0	100.0
(期末) 2016年 1月22日	9,263	△ 7.4	0.0	99.1

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は設定比。

投資環境について

○ハイブリッド証券市況

設定以降、中国をはじめとする主要新興国の景気減速や原油など商品の価格下落、米国の金融政策の先行き不透明感などを背景に、金融市場ではリスク回避傾向が強まりました。こうした状況下、欧米の国債金利が低下する一方で、ハイブリッド証券市況は事業環境の悪化が懸念された企業の発行証券を中心に、軟調な展開となりました。また、ドイツ自動車大手の排ガス不正問題の発覚や、ドイツ公益企業に対する原発廃止関連の費用負担への懸念なども、ハイブリッド証券市況の下押し要因となりました。

ポートフォリオについて

○当ファンド

当ファンドは、コーポレート・ハイブリッド・ファンドの受益証券とダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの受益証券に投資するファンド・オブ・ファンズであり、期を通じてコーポレート・ハイブリッド・ファンドの受益証券への投資割合を高位に維持しました。

○コーポレート・ハイブリッド・ファンド

世界の企業が発行するハイブリッド証券を対象に、信託期間内にコール（繰上償還）等が見込まれる銘柄を中心に投資しました。業種別では景気循環に影響を受けにくい公益事業を軸とし、所在国のソブリンリスク（国家の信用リスク）が安定した大手企業の発行する証券を中心としたポートフォリオを構築しました。また、為替変動リスクを低減するため、対円での為替ヘッジを行ないました。

○ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当期の1万口当り分配金（税込み）は100円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当期	
	2015年7月31日	～2016年1月22日
当期分配金（税込み）	(円)	100
対基準価額比率	(%)	1.08
当期の収益	(円)	100
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	22

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	122.30円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00
(c) 収益調整金	0.00
(d) 分配準備積立金	0.00
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	122.30
(f) 分配金	100.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	22.30

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

主として、コーポレート・ハイブリッド・ファンドの受益証券への投資割合を高位に保つことによって、金融機関を含む世界の企業が発行するハイブリッド証券からの収益を享受することをめざします。

○コーポレート・ハイブリッド・ファンド

当ファンドでは、引き続き世界の企業が発行するハイブリッド証券を対象とし、信用力のベースとなるソブリンリスクが安定した国における大手企業の発行証券を継続保有することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざす方針です。また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いません。

○ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行いません。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	(2015. 7. 31~2016. 1. 22)		
	金 額	比 率	
信託報酬	49円	0.506%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,706円です。
(投信会社)	(18)	(0.182)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販売会社)	(30)	(0.312)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	0	0.004	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数
(投資信託受益証券)	(0)	(0.004)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
			有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	50	0.514	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含まず。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

(1) 投資信託受益証券

(2015年7月31日から2016年1月22日まで)

	買付		売付	
	□数	金額	□数	金額
外国 (邦貨建)	千口	千円	千口	千円
	94,076.379	9,354,513	1,955.012	179,640

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2015年7月31日から2016年1月22日まで)

	設定		解約	
	□数	金額	□数	金額
ダイワ・マネーポート フォリオ・マザーファンド	千口	千円	千口	千円
	0	1	—	—

(注) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2015年7月31日から2016年1月22日まで)

当				期			
買付		売付		買付		売付	
銘柄	□数	金額	平均単価	銘柄	□数	金額	平均単価
GLOBAL CORPORATE HYBRID SECURITIES FUND (ケイマン諸島)	千口	千円	円	GLOBAL CORPORATE HYBRID SECURITIES FUND (ケイマン諸島)	千口	千円	円
	92,415.144	9,197,500	99		1,955.012	179,640	91

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドに
おける期中の利害関係人との取引状況

(2015年7月31日から2016年1月22日まで)

決算期	当 期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	8,930	530	5.9	—	—	—
コール・ローン	207,299	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ペーパーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期中における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) GLOBAL CORPORATE HYBRID SECURITIES FUND	92,121,366	8,418,695	99.1

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	当 期 末	
	口 数	評 価 額
	千口	千円
ダイワ・マネーポート フォリオ・マザーファンド	0	1

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年1月22日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	8,418,695	97.5
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	1	0.0
コール・ローン等、その他	215,331	2.5
投資信託財産総額	8,634,028	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年1月22日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	8,634,028,127円
コール・ローン等	215,331,790
投資信託受益証券(評価額)	8,418,695,337
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド(評価額)	1,000
(B) 負債	136,367,854
未払収益分配金	92,740,654
未払信託報酬	43,294,251
その他未払費用	332,949
(C) 純資産総額(A-B)	8,497,660,273
元本	9,274,065,456
次期繰越損益金	△ 776,405,183
(D) 受益権総口数	9,274,065,456口
1万口当り基準価額(C/D)	9,163円

*設定時における元本額は6,951,227,089円、当期中における追加設定元本額は2,362,713,034円、同解約元本額は39,874,667円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は9,163円です。

*当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は776,405,183円です。

■損益の状況

当期 自2015年7月31日 至2016年1月22日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	157,049,996円
受取配当金	157,013,330
受取利息	36,666
(B) 有価証券売買損益	△ 755,140,160
売買益	901,122
売買損	△ 756,041,282
(C) 信託報酬等	△ 43,627,200
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 641,717,364
(E) 追加信託差損益金 (売買損益相当額)	△ 41,947,165
(F) 合計(D+E)	△ 683,664,529
(G) 収益分配金	△ 92,740,654
次期繰越損益金(F+G)	△ 776,405,183
追加信託差損益金 (売買損益相当額)	△ 41,947,165
分配準備積立金	△ 20,682,142
繰越損益金	△ 755,140,160

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は9ページの「収益分配金の計算過程(総額)」の表を参照。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	113,422,796円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	0
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	113,422,796
(f) 分配金	92,740,654
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	20,682,142
(h) 受益権総口数	9,274,065,456口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	100円

- <分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、1月22日現在の基準価額（1万口当り9,163円）に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

**ダイワ・プレミアム・トラスト・グローバル・コーポレート・ハイブリッド・
セキュリティーズ・ファンド**

当ファンド（コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2015-07（為替ヘッジあり／限定追加型））の主要投資対象であるケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラスト・グローバル・コーポレート・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド」は、2015年12月31日に第1期決算を迎えておりますが、2016年1月22日現在、決算情報を入力できておりません。

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

<補足情報>

当ファンド（コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2015-07（為替ヘッジあり／限定追加型））が投資対象としている「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の決算日（2015年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2016年1月22日）現在におけるダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの組入資産の内容等を11～12ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの主要な売買銘柄

公 社 債

（2015年7月31日から2016年1月22日まで）

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
578 国庫短期証券 2016/3/28	1,200,054		
554 国庫短期証券 2015/11/30	699,999		
579 国庫短期証券 2016/4/7	600,033		
567 国庫短期証券 2016/2/8	600,002		
560 国庫短期証券 2015/12/28	600,000		
540 国庫短期証券 2015/9/24	470,000		
548 国庫短期証券 2015/11/2	449,999		
555 国庫短期証券 2015/12/7	400,000		
546 国庫短期証券 2015/10/19	389,999		
574 国庫短期証券 2016/3/14	350,026		

（注1）金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

（注2）単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2016年1月22日現在におけるダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド（6,773,591千円）の内容です。

(1)国内（邦貨建）公社債（種類別）

区 分	2016年1月22日現在						
	額 面 金 額	評 価 額	組入比率	うちBB格 以下組入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	3,900,000	3,900,126	57.3	—	—	—	57.3

（注1）組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

（注2）額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2)国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2016年1月22日現在						
区 分	銘 柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
		%	千円	千円		
国債証券	566 国庫短期証券	—	200,000	199,999	2016/02/01	
	567 国庫短期証券	—	600,000	600,001	2016/02/08	
	570 国庫短期証券	—	300,000	299,999	2016/02/22	
	573 国庫短期証券	—	200,000	200,019	2016/03/07	
	574 国庫短期証券	—	350,000	350,015	2016/03/14	
	576 国庫短期証券	—	150,000	150,008	2016/03/22	
	578 国庫短期証券	—	1,200,000	1,200,037	2016/03/28	
	579 国庫短期証券	—	600,000	600,024	2016/04/07	
	582 国庫短期証券	—	300,000	300,019	2016/04/18	
合 計	銘 柄 数 金 額	9銘柄	3,900,000	3,900,126		

(注) 単位未満は切捨て。

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

運用報告書 第7期 (決算日 2015年12月9日)

(計算期間 2014年12月10日～2015年12月9日)

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの第7期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

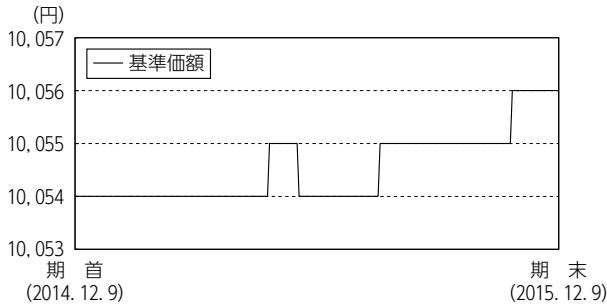
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



年月日	基準価額		公社債組入比率
	円	騰落率	
(期首) 2014年12月9日	10,054	—	62.6
12月末	10,054	0.0	71.5
2015年1月末	10,054	0.0	71.5
2月末	10,054	0.0	74.4
3月末	10,054	0.0	61.6
4月末	10,054	0.0	60.0
5月末	10,054	0.0	87.5
6月末	10,054	0.0	78.1
7月末	10,055	0.0	90.8
8月末	10,055	0.0	67.2
9月末	10,055	0.0	51.4
10月末	10,055	0.0	76.0
11月末	10,056	0.0	51.3
(期末) 2015年12月9日	10,056	0.0	51.3

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,054円 期末：10,056円 騰落率：0.0%

【基準価額の主な変動要因】

低金利環境で利息収入が僅少であったことなどから、基準価額はほぼ横ばいとなりました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

期を通じて、日銀は金融市場調節の操作目標をマネタリーベースとする量的・質的金融緩和政策を維持しました。このような日銀の金融政策を背景に、短期金融市場では低金利が続き、無担保コール翌日物金利は0.07%台を中心に推移しました。国庫短期証券（3カ月物）の利回りは日銀の買い入れによる需給ひっ迫等を背景に、△0.11～0.02%程度で推移しました。

◆前期における「今後の運用方針」

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なっております。

◆ポートフォリオについて

短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産による安定運用を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なっております。

■1万口当りの費用の明細

項目	当	期
売買委託手数料		—円
有価証券取引税		—
その他費用		—
合計		—

(注) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

■売買および取引の状況

公社債

(2014年12月10日から2015年12月9日まで)

国	買付額	売付額
内	6,780,031	399,997
		(4,330,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ()内は償還による減少分、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2014年12月10日から2015年12月9日まで)

当 期		期 末	
買 付	売 付	買 付	売 付
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
554 国庫短期証券 2015/11/30	699,999	532 国庫短期証券 2015/8/17	99,999
560 国庫短期証券 2015/12/28	600,000	534 国庫短期証券 2015/8/24	99,999
540 国庫短期証券 2015/9/24	470,000	520 国庫短期証券 2015/6/22	99,999
548 国庫短期証券 2015/11/2	449,999	466 国庫短期証券 2015/7/21	99,998
555 国庫短期証券 2015/12/7	400,000		
546 国庫短期証券 2015/10/19	389,999		
536 国庫短期証券 2015/9/7	309,999		
557 国庫短期証券 2015/12/14	300,000		
563 国庫短期証券 2016/1/18	299,999		
567 国庫短期証券 2016/2/8	299,999		

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	2,100,038	51.3
コール・ローン等、その他	1,990,861	48.7
投資信託財産総額	4,090,899	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)国内(邦貨建)公社債(種類別)

区 分	当 期		期 末				
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
	千円	千円	%	%	5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	2,100,000	2,100,038	51.3	—	—	—	51.3

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2)国内(邦貨建)公社債(銘柄別)

区 分	当 期		期 末		
	銘 柄	年利率	額面金額	評価額	償還年月日
		%	千円	千円	
国債証券	557 国庫短期証券	—	300,000	300,000	2015/12/14
	559 国庫短期証券	—	200,000	200,000	2015/12/21
	560 国庫短期証券	—	600,000	600,000	2015/12/28
	563 国庫短期証券	—	300,000	299,999	2016/01/18
	566 国庫短期証券	—	200,000	199,999	2016/02/01
	567 国庫短期証券	—	300,000	299,999	2016/02/08
	573 国庫短期証券	—	200,000	200,038	2016/03/07
合計	銘柄数	7銘柄			
	金 額		2,100,000	2,100,038	

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	4,090,899,982円
コール・ローン等	1,990,861,486
公社債（評価額）	2,100,038,496
(B) 負債	—
(C) 純資産総額（A－B）	4,090,899,982
元本	4,068,192,218
次期繰越損益金	22,707,764
(D) 受益権総口数	4,068,192,218口
1万口当り基準価額（C／D）	10,056円

*期首における元本額は79,467,922円、当期中における追加設定元本額は4,645,374,497円、同解約元本額は656,650,201円です。

*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ米ドル・プルファンド（適格機関投資家専用）188,972,589円、ダイワ米ドル・ベアファンド（適格機関投資家専用）3,808,997,814円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2015-07（為替ヘッジあり／限定追加型）995円、通貨選択型 米国内リート・αクワトロ（毎月分配型）159,141円、通貨選択型アメリカン・エクワイティ・αクワトロ（毎月分配型）159,141円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2015-10（為替ヘッジあり）995円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2015-10（為替ヘッジあり）Ⅱ995円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2015-12（為替ヘッジあり）995円、ダイワ／ロジャーズ国際コモディティ™・ファンド15,363,351円、ダイワ／フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド（通貨選択型）日本円・コース（毎月分配型）998円、ダイワ／フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド（通貨選択型）ブラジル・リアル・コース（毎月分配型）998円、ダイワ／フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド（通貨選択型）アジア通貨・コース（毎月分配型）998円、ダイワTOP I Xベア・ファンド（適格機関投資家専用）596,719円、ダイワ豪ドル建て高利回り証券α（毎月分配型）9,949円、ダイワ豪ドル建て高利回り証券ファンド－予想分配金提示型－53,926,540円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は10,056円です。

■損益の状況

当期 自2014年12月10日 至2015年12月9日

項 目	当	期
(A) 配当等収益		299,560円
受取利息		299,560
(B) 有価証券売買損益	△	1,226
売買益		597
売買損	△	1,823
(C) 当期損益金（A＋B）		298,334
(D) 前期繰越損益金		429,726
(E) 解約差損益金	△	3,569,799
(F) 追加信託差損益金		25,549,503
(G) 合計（C＋D＋E＋F）		22,707,764
次期繰越損益金（G）		22,707,764

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。